

令和4年11月2日  
西部農林水産振興センター県央事務所邑智農業部

【 標 題 】 羽須美地区の「今後の農業を考える会」を開催！

(ダイジェスト)

邑南町羽須美地区では、本年度より「担い手不在集落の解消」「集落営農の広域連携化」に向けた取り組みを本格的にスタートさせました。

その取り組みの一環として、このたび「今後の農業を考える会」を開催し、当日は地元住民26名参加のもと、講演・意見交換を行い、当地区の農業の将来を考えていく第一歩となりました。

県の重点推進事項である「地域が必要とする多様な担い手の確保・育成（担い手不在集落の解消）」において、邑南町羽須美地区（口羽地区・阿須那地区）は、本年度、県の「担い手不在集落における近隣の担い手カバー実践・検証事業」のモデル地域として、担い手不在の解消に向けた手法やその効果を検証していくこととしています。

当該事業で取り組むメニューのうち「地域内の農業法人及び個別農家による広域連携体制構築に向けた模索」の一環として、このたび羽須美地区の「今後の農業を考える会」を開催し、地域の抱える課題（高齢化、耕作放棄地の増加、担い手不足）をどのように解決していくのかを考える足掛かりとしました。

【今後の農業を考える会】

- 期 日：令和4年10月13日（木）午後7時～午後8時30分
- 場 所：邑南町下口羽 口羽公民館
- 主 催：農林水産総務課（農山漁村振興室）・西部農林水産振興センター県央事務所
- 内容等：①現状報告  
演 題：「邑南町農業・農村の現状と課題」  
報告者：邑南町産業支援課長
- ②基調講演  
演題：「担い手確保を目指す新しい連携の仕組みづくり」  
講師：農業技術センター技術普及部農村振興スタッフ 今井企画幹

研修会の基調講演では、今井企画幹より「地域での（農業の）課題は？」など参加者と意見交換をしながら進めていく手法で進行し、人材確保の仕組みづくりを地域全体で取り組むことの必要性について共通認識を持つことができました。

当日は、夜の開催ながら地元から26名の参加があり、個別担い手農家や法人役員の他、女性や比較的若い年代の方の姿も見られ、地域の関心の高さが窺えました。

また、研修会終了後に行ったアンケート調査では、「今後の新しい組織や仕組みづくりの検討に参画したい」と回答した方が数名おり、今後は地元有志を中心に羽須美地区農業の将来を考えていくこととしています。

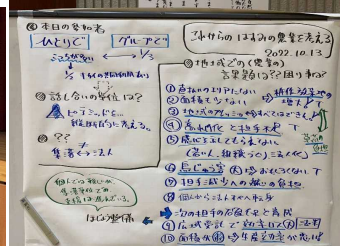
当地区では年度内に2回程度の研修会を計画しており、当農業部も羽須美地区の「仕組みづくり」に参画し、「羽須美モデル」を他地域へ波及できるように支援していきたいと考えます。



【研修会の一コマ】



【基調講演の様子】



【意見・講演の要旨板書】

**ご案内** 今後の農業を考える会開催について

中山間地域では高齢化が進む中、耕作放棄地の増大、担い手不在、様々な課題に直面しています。私たちの地域では課題解決に向けて、今後どのように対応すれば良いか、他地域の事例も参考にしながら、一緒に考えてみましょう。

1 ■ 期 日 令和4年10月13日（木）19:00～20:30  
2 ■ 場 所 邑南町下口羽484-1 口羽公民館  
3 ■ 趣 旨  
○ 現状報告、情報提供  
○ 基調講演  
「担い手確保を目指す新しい連携の仕組みづくり」  
講師 農林水産技術センター  
農村振興スタッフ 今井 企画 幹  
○ 意見交換  
4 ■ 主催 邑南町農林水産振興センター県央事務所  
協賛 西部農林水産振興センター県央事務所

【参加募集のチラシ】